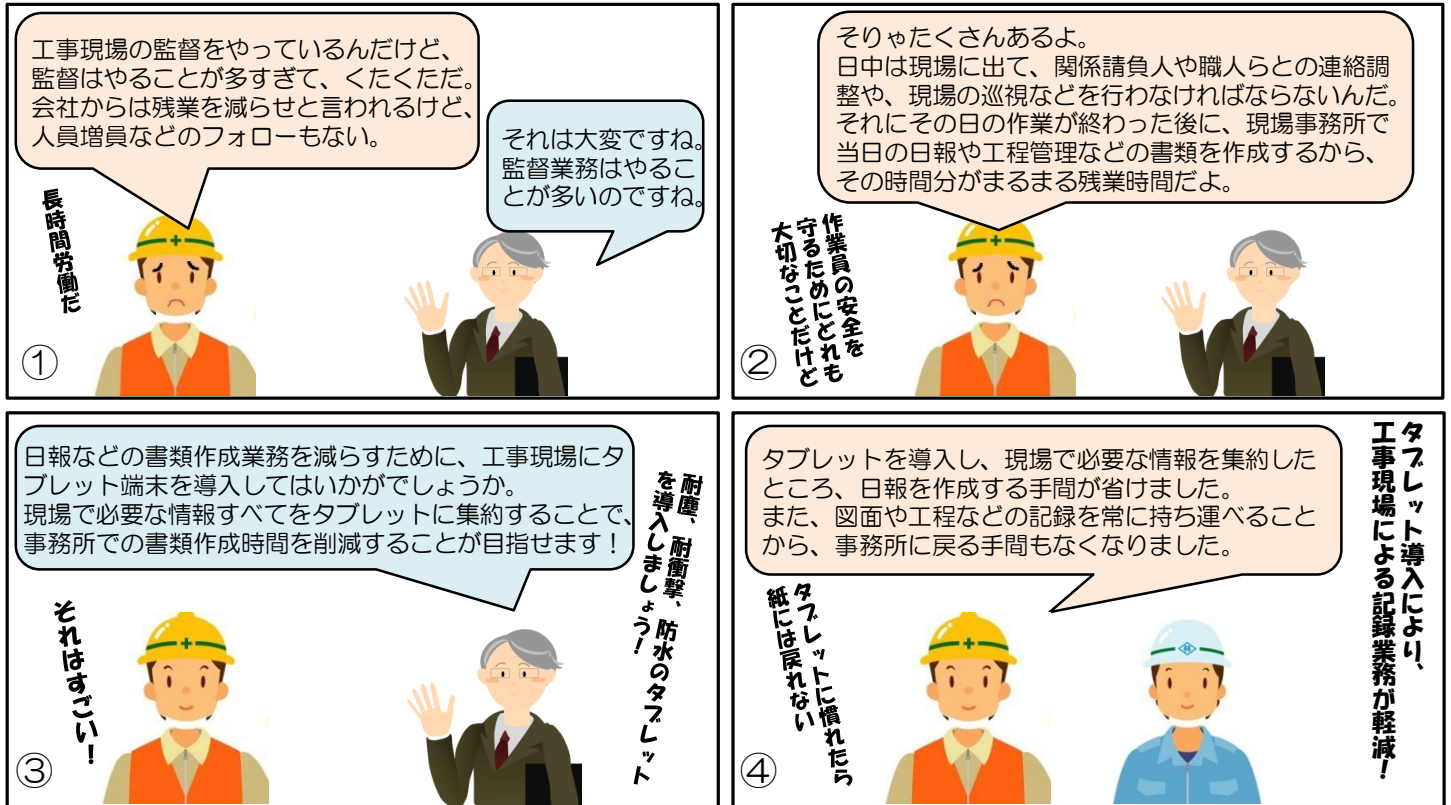


人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

タブレットで建設現場の生産性を高めよう ★★★

～時短・生産性を向上させる工夫～



① 工事現場の監督をやっているんだけど、監督はやるが多すぎて、くたくた。会社からは残業を減らせと言われるけど、人員増員などのフォローもない。
長時間労働だ

それは大変ですね。監督業務はやることが多いのですね。

② そりゃたくさんあるよ。日中は現場に出て、関係請負人や職人らとの連絡調整や、現場の巡視などを行わなければならないんだ。それにその日の作業が終わった後に、現場事務所での日報や工程管理などの書類を作成するから、その時間分がまるまる残業時間だよ。
作業員の安全を守るためにだけでも大切なことだ

③ 日報などの書類作成業務を減らすために、工事現場にタブレット端末を導入してはいかがでしょう。現場に必要な情報すべてをタブレットに集約することで、事務所での書類作成時間を削減することが目指せます！
それはもうノー！
耐塵、耐衝撃、防水のタブレットを導入しましょう！

④ タブレットを導入し、現場で必要な情報を集約したところ、日報を作成する手間が省けました。また、図面や工程などの記録を常に持ち運べることから、事務所に戻る手間もなくなりました。
紙には写れないタブレットに慣れたら
タブレット導入により、工事現場による記録業務が軽減！

取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」

「36協定上限引下げ★+設備投資★★★」に該当

業種：建設業 従業員数：75名

工事現場における監督の業務は、図面や仕様書からの進捗状況の確認、現場に搬入された生コンクリートの試験結果の記録、施工状況の記録撮影、気温や風速の記録、作業員の安全を守る業務など多岐にわたっており、結果として現場監督労働者が長時間労働となっていた。

＜工事現場へのタブレット導入※＞

- 防塵・耐衝撃・防水のタブレットを導入し、どのような状況でも使用できるようにした。
- カメラ付きのタブレットを採用し、施工状況等を撮影することで、記録作成を簡略化した。



書類をタブレットに置き換え

- ・タブレット端末を導入したことで、現場監督の記録作成業務が省略された。その結果、長時間労働が解消され、36協定の上限を引き下げた※。
- ・タブレットには現場に関するすべての情報が集約されていることから、現場監督は各作業者に対し、適切な指示を迅速に行えるようになった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【平成31年度厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市中種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-552-754

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com